

えどがわ 区議会 だより

令和5年第4回定例会号

発行
江戸川区議会

<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

新年を迎え皆様のご健康とご多幸を 心からお祈りいたします



ふじさわ議長 くぼた副議長

区民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和6年の幕開けにあたり、江戸川区議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へと移行され、長く続いていたコロナ禍における生活様式が、ようやくコロナ禍以前の様式に戻り始めました。

江戸川区においても4年ぶりの花火大会や、5年ぶりの区民まつりが開催される等、まちにかつての賑わいが戻ってきた年でありました。

また、子育て支援のひとつとして長きにわたり議論してまいりました「給食費の無償化」をはじめとした多くの子育て支援を推進する等、江戸川区議会、44名の議員は、江戸川区の前進と区民生活の向上に向けて精力的に活動しております。

一方、昨年から続いている物価の高騰をはじめ、少子高齢化への対策や災害対策、新庁舎建設とそれに伴う船堀駅前地区のまちづくり、DX化の推進等、本区の抱える喫緊の課題は多岐にわたるほか、現在、進行している小岩駅前や平井駅前の再開発事業を円滑に推進していかなければなりません。

暮らしやすい江戸川区を目指し、区民福祉の向上、区民生活の安定に向けた取り組みを進めてまいります。そして共生社会実現に向け、区議会は様々な機会を捉えて、区民の皆様の声を聞きながら、区民の幸せのため、明るい未来の江戸川区にするため真摯に努力を積み重ねてまいります。

今後とも、区民の皆様の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。

令和6年新春

江戸川区議会 議長 ふじさわ 進一
副議長 くぼた 龍一

迎春

辰

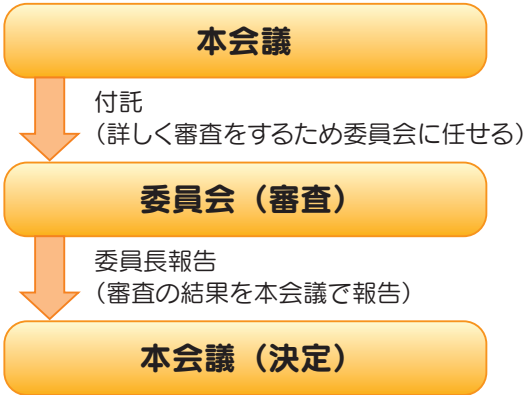
| | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------|--------------------|---------------------|------------------------|
| 高木ひでたか 自由民主党 | 田中寿一 自由民主党 | 野崎まこと 自由民主党 | しかくら勇 自由民主党 | 勝山まゆみ 自由民主党 | 小林ともお 自由民主党 | 金井高志 自由民主党 | 田島寛之 自由民主党 | 福本みつひろ 自由民主党 | ふじさわ進一 自由民主党 |
| 須賀精二 自由民主党 | 島村和成 自由民主党 | 迎春 | | 川瀬やすのり 公明党 | 竹内すすむ 公明党 | 関根まみ子 公明党 | 堀江そういち 公明党 | | |
| 中道たかし 公明党 | 伊藤てる子 公明党 | | | 所たかひろ 公明党 | 佐々木ゆういち 公明党 | くぼた龍一 公明党 | 太田きみひろ 公明党 | 川合さなこ 公明党 | 佐野ともこ 公明党 |
| 小林あすか 無所属の会 | 間宮由美 無所属の会 | 神尾てるあき 無所属の会 | 金井しげる 無所属の会 | ます秀行 無所属の会 | 小俣のり子 日本共産党 | 牧野けんじ 日本共産党 | 大橋美枝子 日本共産党 | 太田あやか 日本共産党 | 滝沢やすこ 立憲民主・国民民主 |
| 中野ヘンリ 立憲民主・国民民主 | きもと麻由 立憲民主・国民民主 | 笹本ひさし 立憲民主・国民民主 | 本西みつえ 生活者ネット・れいわ | 伊藤ひとみ 生活者ネット・れいわ | 田村ひろし 生活者ネット・れいわ | 丸山れいこ 日本維新の会 | 林あきこ 日本維新の会 | 岩田まさかず 無所属 | 五十嵐まさお 無所属 |

いざという時の人命救助に!!

区立施設のAED屋外設置に伴う経費等を含む補正予算を可決



～議会の審査の流れ～



令和5年第4回定例会は11月21日から12月8日までの18日間の会期で開かれました。

- 13人の議員が、区政の各分野における課題について、区長に質問を行いました。
- 区長から、区立施設のAED屋外設置に伴う経費のほか、特別支援学校等給食費補助事業費などを計上した補正予算を含む議案29件、報告1件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。
- 議員が提出した意見書1件は原案のとおり可決され、意見書は各関係機関に送付しました。
- この定例会の会議録は、3月上旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。
- 上記のQRコードから本会議の録画配信映像を視聴できますので、ぜひご覧ください。

区政への質問

11月27日に代表質問、28日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問

これからの行政システムの取り組みについて

自由民主党
須賀 精二

問 区内9か所に設置されているなごみの家は、居場所・通いの場、なんでも相談、地域のネットワークづくり、ニコニコ運動教室、親子カフェ等行っており、年齢や個性の違いに関わらず、誰もが相談できて気軽に集える地域の拠点である。行政の効率化と利便性の向上にDXが進められているが、申請や届け出等を相談しながらできる身近なミニ区役所として、なごみの家を活用しては、

答 ミニ区役所の機能について現在議論を続けているが、なごみの家のなんでも相談や居場所、地域のネットワークづくりといった機能を、今後ミニ区役所に包含していく。なごみの家では行政手続きのオンラインサポートを実施しており、出張相談、区職員を常駐させる実証実験等行っている。今後もなごみの家の長所を生かしつつ、時代のニーズに合った機能強化を図り、徒歩圏内に身近なサービスの提供ができる体制を実現したい。

問 身近な交通手段がないため、不便を感じている区民が多くいる。身近な移動手段を確保する対策として、人と人との触れ合いがあるなごみの家が中心となり地域の力を借りることで、運転手の確保やボランティアでの運行も実現できると考える。サービスを提供する人、受ける人に心の負担が生じないような仕組みづくりが必要であり、地域の人々が支える、地域主体の交通手段の導入を考えては、



なごみの家を中心とした交通手段の導入について

答 交通手段利用者の意見や要望も含め、なごみの家が中心となり、地域の声を多く拾うことで地域の実態を把握できる。運営面においても人材の発掘やコーディネート機能の発揮により地域の方ができる範囲で実現し、持続可能な方法を模索することが重要と考える。なごみの家が目指す地域の繋がりの中で、地域課題を地域の方が解決できる仕組みをコーディネートし、より良い地域をつくる調整役として、交通手段確保について検討したい。

問 福祉施設では人材不足に悩まされており、介護施設で働くやりがい等の魅力を更に区民に伝えるべき。また、介護福祉士の資格取得のため、本区でも養成校の誘致や施設の充実、或いは本区の介護人材従事者への学費免除、住居の優遇処置等も含めた検討も必要では。福祉人材の確保に向けた取り組み・育成について、区がリーダーシップを発揮して取り組むべき課題だと考えるが、区長の所見は、

答 働き手不足は様々な産業で起きている社会的問題であり、福祉人材確保は喫緊の課題であると認識している。離職の防止、多くの層への人材確保に向けた取り組みに加え、やりがい等の魅力を伝えるため介護の仕事に関する冊子を配布している。全国市長会を通して給与改善の要望と区内事業所の意見を聞き協力を得ながら多角的に福祉人材確保を進め、介護事業者の経営安定と区民への適正な介護サービス提供に向け着実に取り組みたい。

問 中小零細企業において、インボイス制度・電子帳簿制度の導入等多岐にわたる対応に追われている中、区内温室効果ガス排出量の35%を占めている企業が脱炭素に取り組むことは重要な課題である。カーボンマイナス都市宣言の実現に向け、自分事として取り組む認識も企業に持ってもらわなければならない中、中小零細企業の脱炭素経営支援の現状と展望は、

答 事業者の約9割は経営改善に繋がると認識、約6割は企業の競争力強化に脱炭素経営が必要と実感している。脱炭素経営では学ぶ、理解する、実践するため、適切な情報が入手できる環境を整備し、セミナーや勉強会の成果を区内全事業者に広げたい。必要な情報の発信とともに、こ

れから取り組む事業者にも寄り添える支援を検討する。脱炭素経営で成果を上げる企業の情報を発信し、企業間の競争力向上に繋がる好循環をつくり出していく。

地域の絆を深め、共生社会ビジョンの実現を。

公明党
中道 たかし

- 問** 公共施設の再編・整備計画について。
- ①来庁不要な区役所を目指す中、事務所の機能はどうなるのか。電子化による利便性向上とコミュニティの醸成の両立・融合について。
 - ②誰もがスポーツに親しめる施設整備について。
 - ③再編・整備の現状と今後の取り組みについて、どのように区民から理解を得ていくのか。

答 ①事務所は周辺施設の機能等と複合化を図り再編する。地域のネットワークづくりをサポートするミニ区役所を整備し、人との触れ合いや繋がりも大切に施設整備を検討したい。

②施設の役割を整理して「する」「みる」スポーツのそれぞれに対応できる施設を整備する。

③様々な機会でお知らせと区民の声を聞いて、将来世代に負担を残さない施設再編を進めたい。

問 活力ある区内産業の推進について。

①活力ある区内産業を推進する条例に込められた区長の思いは、

②策定中の3か年計画の概要と今後の施策は。

答 ①産業振興を戦略的に推し進め、活力ある産業と、経済とともに生きるまちを目指したい。

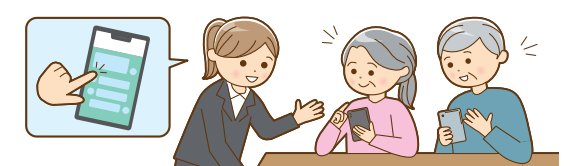
②事業者が抱える課題や課題に対する施策を盛り込む。将来と現況を的確に捉えた計画策定と施策展開になるよう状況分析に努めたい。

問 メタバース区役所推進の意義について。

答 来庁せずに現実の区役所と同様の相談や申請手続きができ、究極のバリアフリーであると考え。更なるサービス向上に努めたい。

問 高齢者のデジタルデバインド解消への取り組みについて。

①スマホの使い方や困りごとについて、気軽に相談できる仕組みづくりをすべき。



高齢者のデジタルデバインド解消への取り組みについて

②スマホ購入助成事業の検証と更なる普及を。

答 ①なごみの家で相談を受け付けている。
②多くの世帯がスマホを持てるよう現状を検証し、助成要件の緩和と事業の見直しを実施する。

問 子どもの権利条例について。

①保護者や区民、子育て施設関係者等へ、どのように理解を広げていくのか。

②子ども自身への周知の取り組みについて。


③子どもの立場から考えたまちづくりに必要な取り組みと、権利を守る計画策定について。

答 ①様々な機会を捉え周知啓発に努めたい。
②社会科副読本への掲載や出前授業の実施等を行っている。今後も啓発を進めていきたい。
③子どもの参画について引き続き積極的に行う。「未来を担う子どものための区民基礎調査」での子どもの意見を反映して計画を策定したい。


問 脱炭素先行地域の選定を目指す新しい区民運動で、更なる機運醸成を図るべき。

答 全国の手本となる取り組み等を関係者と企画し、脱炭素先行地域の選定を成し遂げたい。

西葛西駅前の酔っ払い集団に実効性ある対策を



無所属の会
ます 秀行



問 駅前広場に見られる迷惑行為について。

①迷惑防止に関する条例立案に至った背景は。
②規制内容はお花見や地域まつりにまで及ぶのか。エリアを限定する選択もあったのでは。

③条例案にある対策は今までの対策と変わらない。条例の効果を発揮するための実効性は。

答 ①駅前広場等公共の場所での迷惑行為をなくすために、飲酒の有無に関わらず迷惑行為を防止する条例を今定例会で提案した。

②公共の場所での飲酒を禁止するものでないためお花見等に影響は及ばない。飲酒の有無に関わらず他人に迷惑をかける行為は禁止となる。

③警察との連携による注意の継続、路面の座り込み防止等に取り組み安全で快適な環境保全に努める。条例を周知しマナーアップを図りたい。

問 多文化共生のまちづくりについて。

①多文化共生のまち推進条例制定に至った経緯と、制定後の施策の具体的な変化について。

②医療現場での言葉の違いによる壁は大きい。医療通訳の提供の実施について、区の考えは。

③インドとの交流や区内在住インド人との向き合い方について、一歩進んだ取り組みを。

答 ①ともに生きるまちを目指す条例関連の一つとして、外国人アンケート調査による様々な意見を取り入れ提案に至った。制定後の施策として啓発活動や相談窓口設置等を明記している。

②区医師会や歯科医師会等関係団体に医療現場の状況を伺いながら、国や都の通訳サービスの情報提供を行う等医療機関を適切に支援する。

③まずは先方との信頼関係を築き交流していく。日本最大のインド人コミュニティという特徴を生かし様々な面で連携を深めたい。

問 まちの活性化施策について。

①産業振興施策や就労者支援において、事業の検討段階から失業率を指標に考慮すべき。

②葛西駅寄りの東西線高架下の一部区画が、地下鉄の資材置き場になっている。未利用地の活用は新たな賑わい創出に繋がると考えるが。

③区主催イベントの来場者数は、ビッグデータを活用した精度の高い把握方法の採用を。採用

困難な場合は推計人数の公表自体を控えては。



イベント来場者数のビッグデータ活用について

答 ①本区単独の失業率の独自算出も今後研究したい。失業手当の受給者数や有効求人倍率等の把握に努め、施策の検討に役立てたい。

②現状の資材置き場を変える取り組みは、土地の所有者である東京メトロの考えを確認したい。まちの賑わい創出の可能性について研究する。

③ビッグデータは事業者ごとに数値に開きがあり見極める必要がある。引き続きより精度の高い方法の研究を続け、公表について検討する。


問 魔法の文学館における今後の集客や収支の見通しは。入館料の計算根拠と経緯について。

答 来館目標は達成する見込みで、想定通りの収支計画になっている。来館者数と面積当たりの料金との相関関係を分析し、専門家達の意見と客足に影響しない価格を確認し設定している。


問 自転車盗難被害増の原因と実態把握は。ワーストワンと決定づけず正確な分析を。

答 平坦な土地柄で自転車利用が多い、施設意識の浸透不足等が要因と考える。今後も警察と連携し区民の協力も得て被害件数を減らしたい。

ガザ地区への攻撃中止、物価高騰対策、介護保険拡充



日本共産党
大橋 美枝子



問 パレスチナ・ガザ地区への攻撃中止と即時停戦について。

①10月27日の国連総会決議の立場に日本政府が立ち即時停戦を求めるよう国に要請を。

②国連安全保障理事会が示す戦闘中断及び人質解放を求める内容に、区長が賛同の表明を。

答 ①本区は平和都市宣言を行っており、謳われている宣言文の重さを改めて感じている。

②国際機関の個々の決定について言及する立場にないが、国の立場を理解している。

問 物価高騰への緊急対策について。

①消費税5%減税を国に求めてほしい。

②区独自に住民税均等割の方への給付金支給や、65歳以上を含む世帯への2回目となる食料品支給等を検討すべきと考えるが。

答 ①消費税は負担の水準と給付の水準がどのようなバランスをとるかという視点で、国政の場で議論する必要があると認識している。

②国の総合経済対策の詳細は今後通知される。区独自支援も引き続き国の動向を見極めたい。

問 Park-PFI方式による公園リニューアルについて。

①スケートボードパークは別の場所にとという区民の声を受け止め変更する考えはあるのか。

②公園内の施設設置や樹木伐採等に対する区との関与は。区民の声を反映させる仕組みは。

③Park-PFI方式による公園リニューアルについて、今後その計画はあるのか。

答 ①賛否両論があったため整備保留としている。区民の意見を受け止め、地域の状況も考慮しながら場所の変更も含め検討していく。

②基本協定において、樹木の間伐や更新等につ

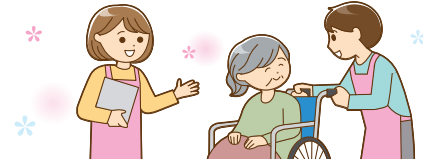
いては樹木の総量維持を検討しつつ、区と事前に協議することとなっている。

③今後も公園整備の手法の一つとしてPark-PFIも視野に入れながら、最適な整備手法を検討していきたい。

問 第9期介護保険事業計画策定について。

①保険料値上げは中止を。第一・第二段階の保険料は減免、高額所得者の保険料は増額を。

②介護利用料2割負担対象拡大中止、老人保健施設や介護医療院の多床室の部屋代負担増の中止、介護報酬引き上げを国に求めること。




第9期介護保険事業計画策定について

答 ①様々な制度改正や報酬改定、保険料率の見直し等について国で議論されている。国の議論を踏まえ、介護保険事業計画検討委員会で検討し、適切に区の保険料も対応したい。


②国の議論を見守る。介護保険の持続可能性確保と介護事業者の経営安定化のために国に要望する等、その時々に合わせて対応したい。

一般質問

新型コロナウイルス感染症の振り返り



自由民主党
小林 ともお



問 新型コロナウイルス感染症の振り返りと今後の感染症対策について。

①平時からパンデミックへの備えが必要と考える。医療面における新型コロナウイルス感染症の振り返りと今後の感染症対策について。

②新型コロナウイルス感染症により心身に不調を訴えた生徒について把握しているのか。

③教育現場における新型コロナウイルス感染症の振り返りと今後の感染症対策について。

答 ①3年間の経験や対策の検証を踏まえ感染症予防計画策定を進めている。新型インフルエンザ想定訓練を医療機関と実施しており、今後は人員確保や資質向上等備えを充実させたい。

②感染回避のため欠席した児童・生徒は、一番多い年度で400人以上いた。心身の不調を訴えた子には、担任、養護教諭等が相談を受けて保護者と連携しながら対応してきた。

③対策を講じつつ教育活動を推進したが、支援等に課題が残る。やむを得ず登校できない子の悩みや心配ごとを一人ひとり丁寧に聞き取り、必要な支援と手立てを今後も行いたい。

問 障害者施策について。

①障害者の高齢化に伴う生活環境の整備は喫緊の課題だと考えるが、区長の所見を。

②類似サービスも多い介護保険制度と障害福祉制度を一元化して、高齢者も障害者も社会全体で支え合うことが良いと考えるが。

③障害者のための環境整備と、介護保険制度と障害福祉制度の一元化について、区長会として都と国に対して働きかけを。2100年に向けた障害者施策について、区長の所見を。

答 ①介護保険制度と障害福祉制度の活用で生活環境を整備している。今後も介護保険制度

を活用し限られた資源を有効に活用したい。

②「65歳の壁問題」解決や安心な生活のために制度の一元化は必須と考える。今後様々な機会

で区長会や都を通じ国に要望を挙げたい。
③障害の重度化と親亡き後の問題へ対応するため、関係機関の協力を得ながら支える仕組みが必要である。都や国に対する積極的な提言や、改善に向け行動し施策展開を進めたい。

問 特養での対応はできないが療養型医療機関へ入院する程ではない医療的ケア者が多く存在する。特養の看護職員の夜勤体制の構築のため、区独自の人件費補助の検討を。

答 適切な報酬改定を国に要望し、働きやすいよう施設をサポートすることで利用や選択肢が広がる特養の医療的ケア支援を検討する。

問 友好都市との関係について。

①小中学生に食育を通して友好都市を身近に感じてもらうため、月に1回、農産物を現地から取り寄せて友好都市給食日を設けては。

②未来を見据えた友好都市との新たな交流事業を盛り上げていくため、新庁舎に友好都市のアンテナショップを常設しては。

答 ①農作物の取り寄せについては各都市の可能な供給量や安定的な販路等を研究する。学校に各都市の献立を積極的に取り入れるよう声かけし、イベント給食実施も検討したい。

②新庁舎に限らず、設置場所や運営方法、友好都市の意向等、お互いの都市の更なる発展に向けて各都市と相談のうえ検討したい。


問 ネーミングライツやクラウドファンディングを活用し全国に注目されるデザインで誰もが使いやすい魅力ある公衆トイレの設置を。

答 施設の更新の際にデザイン性や快適性、持続可能な維持管理ができるまちなみに調和した手洗所を考えたい。手洗所の整備にはクラウドファンディング等の活用を研究したい。


問 本区の約2700件の手続きで阻害要因があり未だオンライン申請ができていないものが多くあると聞いている。オンライン申請推進による行政サービス向上について、区長の所見を。

答 法規制による阻害要因の解消を求めるとともに、新技術の積極的な活用でオンライン申請化を加速させ、利便性の高いサービスの提供、来庁不要の区役所の実現に努めたい。

持続可能な清掃事業へ。葛西南部地域の更なる発展を



公明党
伊藤 てる子



問 持続可能な清掃事業について。

①車両や人員体制等の実情に見合った経費算定を検討すべき。ペットボトル回収の収集運搬料について雇上単価の9割算定は見直しを。

②ごみの出し方や分別、資源リサイクルについて、外国籍の方も含めた啓発活動の実施を。

答 ①作業量の反映は、事業者の実態を伺いながら適切な算定を研究する。ペットボトルの収集運搬委託料については、人件費や物価等の高騰も加味し適切な費用算定を検討する。

②引き続き町会・各種団体に向けて出前講座も活用してもらい、ごみの分別の正しい知識を身につける普及啓発活動に力を入れたい。

問 今後の資源リサイクルについて。

①家庭用の使用済み食用油は再利用が進んでいない。食用油のリサイクル事業を始めたい。

②使用済み紙おむつのリサイクルの検討を。

答 ①廃食用油の回収における協力店舗との調整や、区内のイベント等の機会を捉えて廃食用油の回収に取り組みたい。

②衛生上の問題等課題もあるが、他自治体の事例を参考に環境負荷の少ない使用済み紙おむつのリサイクルについて研究を進めたい。

問 区立小学校における教科担任制の導入と、教員の加配等の課題についてどのように支援していくのか。また、児童の学力向上、教員の資質向上、働き方改革に繋げていくのか。

答 研究校の成果資料を広く共有し力強く推進する。これまでの成果と課題等取り組みを集約し区内小学校で情報共有を図り、学力向上や教員の働き方改革に着実に繋げたい。

問 希望する多くの区民が带状疱疹ワクチンを接種できるよう、区の助成制度が利用できる指定医療機関について更なる拡大を。

答 接種希望者の増加や国による定期接種化を見据え、指定医療機関の拡大については、その推移を見極めながら検討していく。

問 葛西南部地域の更なる発展と新たな江戸川区の魅力づくりについて。


①葛西南部地域は豊かな自然と未利用地があり、大きな可能性を秘めている。今後の発展と新たな魅力づくりについて、区長の展望を。

②都及び葛西水再生センターにおける汚泥の活用と取り組みは。葛西水再生センターでの循環型下水道の推進について、区長の所見は。


答 ①大きなポテンシャルを最大限に発揮できるよう関係各所と連携し、区民の声を聞きながら、魅力あるまちづくりに取り組みたい。

②都は農業肥料への利用を検討、葛西水再生センターは水素ステーションを設置している。下水道の視点から地域特性を生かした循環型社会を目指すことは大切だと考える。

学校司書の常駐を。子ども食堂への補助金廃止は再考を



無所属の会
間宮 由美



問 学校図書館への学校司書の配置について。

①学校司書の役割とその活動について。

②区立図書館職員の巡回配置を令和6年度から全学校で週1日にする方向とした理由は。

③巡回職員の給与について、区の考えは。

④他区における学校司書の常駐については、既に荒川区で1校に1人週5日勤務、足立区では常駐できる人選が可能である業者を選んでいる。本区においても、学校司書の常駐を。

答 ①区立図書館職員の専門知識で環境整備や蔵書管理を進め、使いやすい学校図書館になっている。区立図書館職員による授業支援も増えて教員からは好評であり、引き続き区立図書館との更なる連携に向け尽力したい。

②全校に配置できる人員を揃えるために相当の期間が必要で段階的に配置日数を増やしている。まずは週1日からしっかりとやっていく。

③図書館での本来業務もあるため、巡回職員業務分の給与額は算出できない。区立図書館職員の賃金は指定管理者が決定すべきで、区としては指定管理者の公契約条例順守を確認していく。

④引き続き学校図書館支援の効果や課題について研究し、巡回日数を含めた区立図書館職員の配置のあり方についても検討したい。

問 子ども食堂への補助の継続について。

①子ども食堂の役割について、区の考えは。

②本区において、子ども食堂が増えている背景をどのように捉えているか。


③配食・宅食による取り組みにおける補助を都は2分の1出すと言っているにも関わらず、区は令和6年度から廃止、新たな子ども食堂の立ち上げや支援拡充に要する補助等を令和7年度から廃止すると聞かすが、廃止をしてよいのか。

④不登校や発達障害の子の中には会食に参加できない子もいるため、補助廃止は再考を。


答 ①②子ども食堂は貧困の子どもを救いたい等その想いは様々である。自分達の歩めるペースで実施できることが、増えている要因と考える。子ども食堂の自主性を損なわない範囲で行政として側面支援を継続していく。

③④配食等への補助はコロナ禍の緊急的な対応で、整備設備費等の補助も食堂継続に影響するものではなく、本来の姿に戻すため都の廃止を契機に区も補助を終了する。運営費等の一部補助は継続するが社会情勢に合わせた子ども食堂のあり方について理解いただきたい。

命を守る水泳授業の継続を。都立公園等の樹木を守れ



日本共産党
牧野 けんじ



問 公共施設の再編・整備計画について。

①計画策定にあたり、人口減少社会における民間資源や活力に関するリスク等の想定は。

②公共施設のあり方懇話会等で対面による検討や、意見交換等の機会を積極的につくるべき。

③区立図書館について。

1)図書館法に定められた必要な機能を各館で維持すべき。区の基本的な考え方は。

2)図書館法に基づく区立図書館の不足地域について、現状の認識は。

④学校プールのあり方について。

1)命を守る水泳授業についての認識は。着衣泳が何校で実施されているのか。

2)「学校プールの整備方針」策定について、どのような体制、仕組みで検討をしていくのか。

答 ①官民連携には様々な手法があり、色々な角度から検討し事業ごとに見極め判断する。

②地域の方々や民間事業者、必要に応じ専門家の意見も伺い、議論を深めながら進めたい。

③1)規模の適正化を図る中でも、機能の維持と時代に合ったサービス提供に努めたい。

2)今後も不足地域には図書館サテライトを設置し、より良いサービス提供に向け検討したい。

④1)水難事故防止に向け自己の命を守る意識の向上が重要と認識している。全小学校で着衣泳等の体験を通じた指導を行っている。

2)区的意思決定後、教育委員会に諮り、令和5年度内に区議会に整備方針案を示したい。そのうえで、ホームページ等で周知したい。

問 区内のみどりの保全について。

①都立公園の樹木伐採について都への働きかけと協議は。篠崎公園の高台化事業に伴う樹木の伐採本数について、都とのやり取りは。

②区のみどりを保全する基準や条例の制定を。

答 ①大規模な建築行為に伴う場合には、みどりに関し協議していく。篠崎公園の高台化事業については共同事業として協議している。


②「みどりの基本計画」がみどり保全の基準で

ある。条例は他自治体の例を参考に研究する。

問 篠崎公園地区のまちづくりについて。


- ①第二次移転先の宅地地盤強度確保や地盤改良の考え方と具体的方法、権利者への説明は。
- ②道路288号線事業では、ボックスカルバート(箱型トンネル)はやめて計画を見直すべき。

- 答** ①施工者である国と連携を図り地盤強度の確認を行っており、所定の基準を満たすことを基本に土地権利者と調整を進めている。
- ②ボックスカルバート内部の路面は現状の地盤やトンネル出入口より高くするため浸水リスクはない。災害に強いまちづくりを推進したい。



**奨学金所得制限撤廃と
実子誘拐について問う**

立憲民主・国民民主
中野 ヘンリ



問 成績が特に優秀で心身健全であり経済的理由により就学困難を条件とする木全・手嶋育英資金について、高所得世帯であるが親子間で進学の認識に差がある等、親との関係に悩んでいる子が取り残される危機がある。経済的理由の要件撤廃の考えと、区独自の所得制限のない給付型奨学金設置の考えは。

- 答** 限られた財源を公平かつ効果的に使うため、経済的理由を応募資格としており要件撤廃は難しい。所得が高い家庭でも家庭の事情等で保護者の援助が受けられないケースを客観的に判定することは困難で、奨学金の対象とするためには様々な課題があると考え。区独自の所得制限のない給付型奨学金設置も含め、区が担うべき奨学金のあり方について国の就学支援制度の動向を注視し研究したい。


問 親子交流の促進で養育費の支払い率が上がる調査結果も出ており、区で親子交流促進事業を行う考えは。また、監護権の確定のために無断で子どもを連れ去る行為が問題となっているが、区における子の連れ去り件数や相談件数の実態把握、実子誘拐に対する考え、連れ去り防止策の検討は。実子誘拐被害者は虚偽DV被害を申告されるケースもある。親権奪取のためにDV被害者支援措置を悪用する課題に対する認識と支援措置の判断は。

- 答** 親子交流支援事業は都の「ひとり親家庭支援センターはあと」を案内しており、今後研究したい。無断で子を連れ別居に至った件数は把握できないが、親権については父母の協議で決め、困難な場合に家庭裁判所の判断に基づく枠組みに則った対応が望ましいと考える。家庭相談専門員による相談等、個別事案に応じて対応していく。DV被害者支援措置の悪用は確認できないが、悪用の事実があれば課題だと認識する。支援対象の判断は、相談や申出内容をもとに、警察や相談機関と協議しながら必要性の確認を行っている。

問 本区の死産数は令和4年度75件に上るが、この人数に12週未満の赤ちゃんは含まれず実際の人数は更に多い。アポーションケアについて、流産や死産等で子を亡くした家族への支援は十分とはいえず、心身に寄り添った支援と辛い思いを抱えた方が孤立せずに助けを求められる情報発信に取り組むべき。


- 答** 保健師による情報提供や相談、同じ体験をされた方による電話相談の紹介等、区や都の事業を活用して心身のケアをサポートしている。妊

産婦支援において、流産や死産をされた方への支援も含まれることが分かるように情報発信のあり方を更に工夫し、今後も寄り添ったきめ細かい支援の充実に努めたい。



介護保険外サービス、プラスチック、清掃工場建替え

生活者ネットワーク・
れいわ新選組
伊藤 ひとみ



問 介護保険サービス受給者でも介護保険外の生活支援サービスを利用できず制度の狭間にこぼれる方がいる現状への認識と見直しを。

- 答** 制度の公平性や財政状況を幅広い観点から検討し、事業の見直しを今後も行っていく。

問 プラスチックを使わない社会に向けて。


- ①区民まつりでのレンタル食器使用の理由と取り組みの計画、今後の区の姿勢について。
- ②学校給食の牛乳のストローの廃止について。
- ③会議でペットボトル等の提供をやめるべき。

- 答** ①イベントでの活用は行動変容への良い機会である。検証や改善で実効性を高めたい。
- ②機運醸成に向け校長会等でも話していく。
- ③環境負荷の低減を目指し取り組んでいく。

問 江戸川清掃工場建替えに関連して。


- ①区民との意見交換会や協定締結の実施を。
- ②東京二十三区清掃一部事務組合との操業協定がない理由と、組合と住民、区の三者協定は。

- 答** ①住民説明会や建替協議会を実施した。
- ②協定書がなくても清掃一組から毎年工場の操業状況報告書が提出され公表している。3者間協定は地元の皆さんと話し合いたい。



**別居、離婚しても共同養育
が出来る江戸川区にする!!**

日本維新の会
丸山 れいこ




問 共同養育しない子ども連れ去りについて区長の所見と、子どもの権利条例の運用実務について。別居・離婚後の子どもの支援は。

- 答** 丁寧に寄り添い相談に対応する。両親離婚後も養育費、親権や親子交流等の取り決めについて様々な角度から取り組んでおり、今後も子の健やかな成長のために取り組みたい。


問 教科書採択の基本的な考え方と、都教育委員会からの指導等の活用、教科用図書選定資料検討委員会の任命について。区と都の調査研究の違いと、展示会への区の対応は。

- 答** 都の指導等が記された資料を活用し公正かつ適正に採択する。検討委員会は学校関係者や保護者で組織している。調査研究資料では、都は教科書の傾向、区は教員の意見等を集めている。展示会は図書館で開催し周知した。



**図書館の役割を時代に
即して変化させよ!**

無所属
岩田 まさかず



問 図書館不要論について。


- ①図書館不要論に対する区長の考えは。
- ②区長の理想とする図書館の未来像とは。

- 答** ①図書館の役割は多く不要とは考えない。

②コミュニティ醸成の場として大きな役割を持つ。


- 問** 教科書の採択について。
- ①教科書採択では教員の意見を尊重すべき。
- ②教科書展示会は現行のままで良いのか。
- ③教科書展示会の今後のあるべき姿について。

- 答** ①教員の意見を各学校で集約している。
- ②ふさわしい教科書を選んでいくと考える。
- ③教科書会社との縛りがあり難しいが、引き続き開かれた展示会の実施に向け検討したい。



**区民の健康と生活を守る!
地域防災力の更なる強化を**

公明党
佐野 ともこ



問 子宮頸がん撲滅への取り組みについて。

- ①HPVワクチンのキャッチアップ接種対象者に対し、最終期限を記した通知を送るべき。
- ②男性のHPVワクチン接種の費用助成を。

- 答** ①はがきによる個別通知、SNSを活用した情報発信、イベントでの啓発等、より効果的な方法を検討し周知強化に取り組みたい。
- ②ワクチン接種の女性への啓発とともに、都の動向を注視し男性の接種費用助成を検討したい。

問 横断歩道や駅ホーム等での視覚障がい者への声かけサポート方法について、ハンドブックや動画等作成して普及啓発の取り組みを。

- 答** 障害種別ごとに配慮点をまとめた職員向け資料を、今後は区民向けに改善し区ホームページで公開する。啓発イベントでも資料を配布して知識・理解を広め、心のバリアフリー化のための取り組みを更に充実させたい。

問 本区の就業中の服装について、通年でのノーネクタイや服装の多様化を進めるべき。

- 答** 職員の服装の多様化については、区民の理解が必要と考える。社会全体の浸透度合いを確認しながら、導入について見極めたい。

問 地域防災力の更なる強化について。

- ①避難所運営協議会の設置推進と住民も巻き込んだ避難所開設、避難訓練開催の支援を。
- ②地域の防災リーダーとなる防災士の育成について、資格取得費用助成も含め検討すべき。
- ③防災学習の成果を発揮する機会として、中学生を地域防災訓練に積極的に参加させては。

- 答** ①地域や学校の協力を得て避難所運営協議会の設置数は77か所となった。避難所開設訓練は19回行い、その機会を増やしたい。

- ②経験豊富な防災士を町会・自治会に派遣する等、活躍の場を広げ支援している。防災士取得の費用助成については研究課題としたい。

- ③子ども達の地域防災訓練への参加を積極的に促し、炊き出しや救援物資配布等に参加する中で地域と連携できる人材の育成を進めたい。

問 子どものゲーム及びネット依存症対策について、どのように取り組んでいくのか。

- 答** 保護者と学校がともに連携し、ゲームやネット依存の未然防止に繋がるようなルールづくりを含め、対策について協議を進めたい。



議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記のQRコードからもご覧になれます。



令和5年第4回定例会

全会一致となった議案等の審議結果

Table with 2 columns: Item Name (件名) and Result (結果). Lists 15 items, all marked as '可決' (Adopted).

Table with 2 columns: Item Name (件名) and Result (結果). Lists 9 items, all marked as '可決' (Adopted).

区長提出議案に対する議員別の審議結果はこちらをご覧ください。



11月28日議決分



12月8日議決分

意見が異なった議案等に対する各会派の態度 (○…賛成、×…反対)

※1 議長を除く

Table showing voting results by party for various proposals. Columns include Party (e.g., 自民, 公明, 無会, etc.) and Result (e.g., 可決, 不採択).

※2 不採択に賛成…○、反対…×

令和5年第2回臨時会

全会一致となった議案等の審議結果

Table with 2 columns: Item Name (件名) and Result (結果). Lists 2 items, both marked as '可決' (Adopted).

区長提出議案に対する議員別の審議結果はこちらをご覧ください。



12月28日議決分

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、無会…無所属の会、共産…日本共産党、立国…立憲民主・国民民主、ネレ…生活者ネットワーク・れいわ新選組、維新…日本維新の会、無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています

皆さんから提出された請願・陳情

請願・陳情については、こちら⇒



Table listing newly accepted petitions and requests, including item number, description, and the committee assigned to handle it.

Table listing petitions and requests, including item number, description, and the committee assigned to handle it.

議員から提出された議案

—意見書は各関係機関に送りました—



令和5年第4回定例会

○医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書 (厚生労働大臣、財務大臣、国土交通大臣 あて)

令和5年第2回臨時会

○パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的の即時停戦等の実現に関する決議

詳しくは、江戸川区議会のホームページをご覧ください。

第2回臨時会の概要

- Summary of the 2nd Special Session: Held on Dec 28, 1 day. 1 proposal from the区长 and 1 resolution from a council member were adopted unanimously. Details of the resolution regarding tax relief for families with children under 18.

総務委員会 主な議案審査内容

○令和5年度江戸川区一般会計補正予算（第7号）

・集合住宅の駐輪場における防犯カメラ設置の調査について

委員より、集合住宅駐輪場防犯カメラ設置支援調査事業について質問があり、執行部より、区内で増加している自転車盗難被害の抑止を図るため、特に被害の多い集合住宅の駐輪場に区が所有する防犯カメラを1年間貸与して実証実験を行うものである。効果が見込める場合は、防犯カメラ整備事業の拡充を検討していくとの答弁があった。

これに対し、委員より、本区の自転車盗難被害件数が都内ワースト1位となっていることから効果検証を十分に行い、被害件数を減少させる施策を今後も展開していくこと。また、不特定多数の人が出入りできる場所に防犯カメラを設置するためプライバシーに配慮していくことと、盗まれた自転車の多くが無施錠であることから引き続き防犯意識の向上や鍵かけの徹底等の啓発をしていくことが要望された。

・特別支援学校における給食費の補助について

委員より、特別支援学校等給食費補助事業とその継続性について質問があり、執行部より、本事業はこれまで給食費無償化の対象となっていなかった盲学校、ろう学校を含む国公立の特別支援学校に通学する児童・生徒の保護者に対しても、区立小中学校の給食費と同額を補助していく。今後は国や都の動向等も踏まえ検証していくとの答弁があった。

これに対し、委員より、特別支援学校等に給食費の補助が行われることは、より多くの子育て世帯に対する経済的負担の軽減となるため、引き続き事業として継続していくこと。また、私立学校に通学する等、補助を受けられない世帯もあることから、不公平が生じないように今後も更なる検討をしていくことが要望された。

・AEDの屋外設置について

委員より、AEDの屋外設置について質問があり、執行部より、現在区内にあるAEDのほとんどが屋内に設置されているため、128か所の区立施設のAEDを屋外に移設して、24時間いつでも誰でも使用できる環境を整えていくとの答弁があった。

これに対し、委員より、AEDを用いた救命活動が迅速に行われるためには設置場所を把握しやすくする必要のあることから、今後は設置場所の統一やえどがわマップへの表示を分かりやすくすること。また、本区には外国籍の区民も多いため、多言語化について検討していくことや、機器を使える人を増やしていくためにAEDの講習会についても併せて周知することが要望された。

○江戸川区避難行動要支援者名簿の情報の提供に関する条例

委員より、避難行動要支援者名簿について質問があり、執行部より、本条例は災害時の円滑かつ迅速な避難支援等の実施のため、災害対策基本法に基づき、避難支援等関係者に対する避難行動要支援者名簿の情報の提供について必要な事項を定めるものである。地域防災計画の改定に合わせ避難行動要支援者の定義を見直したことにより、重い障害を持つ方や要介護度の高い方等、約1万6千人の名簿を作成する。名簿の提供先は、従来の警察署や消防署に加え社会福祉協議会や民生委員等も対象とし、提供にあたり保管や秘密保持に関する事項を定めた協定を締結する予定であるとの答弁があった。

これに対し、委員より、名簿の作成と提供にあたっては適正な職員配置のもと、要支援者の個人情報に十分配慮していくこと。また、要支援者の中には名簿への登載を望まない方もいることから、名簿へ登載しない選択が可能であることを周知していくことが要望された。

議員研修を開催しました

SideBooks講習会

江戸川区議会ではペーパーレス化に向けた取り組みのひとつとして、電子化した文書をクラウド上の電子本棚で管理し登録されたメンバーで共有するシステム「SideBooks」を活用してきました。議員個人が使用しているパソコンやタブレット端末から本会議や各委員会における資料を閲覧でき、会議の効率化と紙資料の大幅な削減が期待できます。

そして今回、新たに区議に当選された新人議員を中心に、令和5年12月14日、SideBooksの講習会を開催しました。講習会では、SideBooksの基本的な使い方をはじめ、ページの開き方、マーカーのつけ方、メモやしおりの入れ方等、その操作方法を学びました。

今後も江戸川区議会はSDGsの推進のため、ペーパーレス会議の実現を目指していきます。

【テーマ】SideBooks講習会

【講師】東京インタープレイ株式会社 日向 洋一 氏



■ SideBooks講習会の様子

コンプライアンス研修

江戸川区議会では日ごろの議会活動とは別に様々な研修を行っています。令和5年12月15日には、全議員を対象にコンプライアンス研修を開催しました。講演は具体的な事例を踏まえながら行われ、著作権・プライバシー権・肖像権等の個人情報に関する内容、地方自治法や公職選挙法等で定められている規定、ハラスメントの行為について等、その内容は多岐にわたりました。

また、研修ではSNSの活用についても取り上げられました。フェイスブックやX（旧Twitter）等のSNSについては、リアルタイムな情報をスピーディーに発信できる手段として多くの議員が活用しています。

今回の研修を通じて改めてコンプライアンスについて学び、SNSも利活用していけるよう日々の議会活動に役立てていきます。

【テーマ】コンプライアンスについて

【講師】弁護士 帖佐 直美 先生



■ コンプライアンス研修の様子

令和6年第1回定例会開催予定

| | | |
|---------------|-----------|-------------------|
| 2月15日（木） | ……… | 本会議（議案上程、委員会付託） |
| 20日（火） | ……… | 本会議（一般質問） |
| 21日（水） | ……… | 本会議（一般質問） |
| 26・27・29日 | } 予算特別委員会 | |
| 3月1・4・5・7・11日 | | |
| 12日（火） | ……… | 常任委員会（議案審査） |
| 13日（水） | ……… | 各常任委員会（請願・陳情等の審査） |
| 25日（月） | ……… | 本会議（委員会報告及び表決） |

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

本会議の傍聴はインターネットでもご覧いただけます

より多くの皆様に議会活動を知っていただけるよう、本会議、予算特別委員会、決算特別委員会の様子を、生中継及び録画映像で公開しています。右のQRコードや区議会ホームページからご覧ください。



区議会広報委員会（◎委員長 ○副委員長）

◎高木 ひでたか ○関根 まみ子
小林 あすか 小俣 のり子 滝沢 やすこ

写真で振り返る江戸川区議会の1年間

区議会防災訓練で、情報受発信訓練及び区議会災害対策本部設置訓練を実施しました。議員が登庁できない場合も想定して Zoom 形式での開催も行われました。



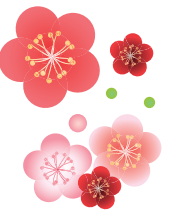
2月



令和5年第1回定例会において予算特別委員会を開催し、令和5年度の予算を審議しました。

3月

トルコ・シリア大地震に対する募金活動を行い、集まった寄付金については、日本赤十字社に寄付しました。



4月

4月23日の選挙で44人の議員が選出され、5月2日から新しい任期が始まりました。



5月

臨時会が開催され、議長や各委員会のメンバーが選出されました。



7月

7月25日～7月30日、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市で、ホノルル江戸川区民会設立総会と日本ハワイ姉妹都市サミットが行われました。



10月

令和5年第3回定例会で決算特別委員会が開催され、令和4年度の予算が適正に執行されたかを審議しました。



11月

江戸川区SDGs議員連盟の主催で、令和5年11月11日に「江戸川区SDGs中学生議会」が開催されました。

江戸川区総合防災訓練では、情報収集訓練や参集訓練を行いました。



令和5年第4回定例会の初日に議場コンサートを開催し、多くの方に鑑賞していただきました。

